

APRICOT2023参加報告

白間 夕海

株式会社インターネットイニシアティブ
プロフェッショナルサービス部サービスインテグレーション1部4課
(2022/6にIIJ中途入社)

普段の業務：インフラSI

- ・ 英語の勉強を約2年前に始めました。
- ・ 今年1月、英会話シェアハウスに引っ越しました。
- ・ 今回のプログラムは、メーリングリストに流れてきた情報をたまたま見つけて応募。
- ・ 文学部出身。

| | |
|--------------------|----|
| 1. APRICOT参加概要 | 3 |
| 2. 参加動機 | 4 |
| 3. 参加したセッション | 5 |
| 4. 印象に残ったセッション①～③ | 7 |
| 5. まとめ | 11 |
| 6. 今後この経験をどう活かしたいか | 12 |
| 7. 参加支援プログラムに関する所感 | 13 |

1. APRICOT参加概要

APRICOT2023

The Asia Pacific Regional Internet
Conference on Operational Technologies

APNIC55



開催場所：

MANILA, PHILIPPINES

期間(参加パート)：

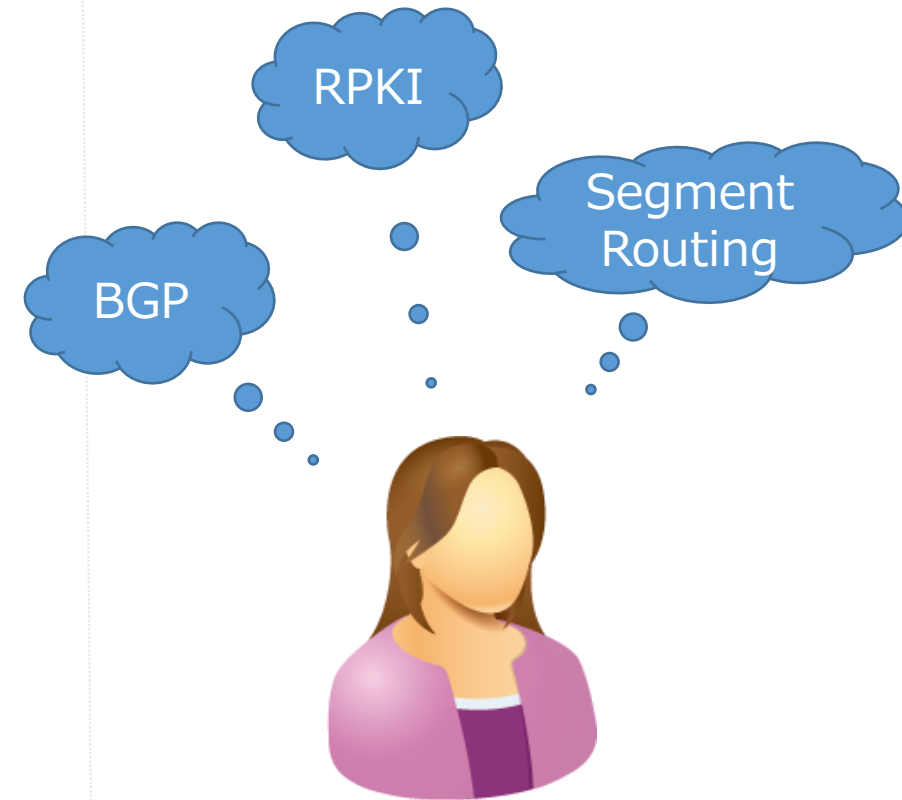
2023/2/27(月)-2023/3/2(木)の4日間

2. 参加動機

① プログラムのキーワードに興味があったため

② 英語で行われるビジネスの場に参加してみたかったため

③ 海外のエンジニアの知り合いを作りたいかったため



3. 参加したセッション

Day1 Session

APNIC Foundation: fostering technical community action on climate and inclusion

Opening Ceremony and Plenary

APNIC Cooperation SIG

Opening Social

Day2 Session

APOPS 2

APRICOT Peering Forum 1

APRICOT Peering Forum 2

APRICOT Peering Forum 3

交流会

3. 参加したセッション

Day3 Session

Diversity & Inclusivity in Tech

Network Operations 1

Internet Technology

APNIC Global Reports

APNIC EC Social

Day4 Session

Packet Analysis Tutorial

Segment Routing: SRv6

P4 (Programming Protocol-independent Packet Processors)

Closing Plenary

Closing Social

Diversity & Inclusivity in Tech

- Switch!プロジェクト参加者が登壇。
- それぞれの国でのDiversity観点での経験についてパネルディスカッション。
- Switch!プロジェクトについての紹介が会期中、参加者と交流するきっかけとなった。

Segment Routing: SRv6

- SoftbankのTakeshi Sensui氏の発表が興味深かった。
- 5GのモバイルネットワークにSRv6を実装した際の課題が紹介された。
 - SRv6のSIDの関数長がベンダーによって異なるため、運用上の相互性に問題があること
 - MTID2をサポートしていないルータがあること
- インターネットの世界では標準化も重要。

P4 (Programming Protocol-independent Packet Processors)

- P4についてのTutorialセッション。
- P4について体系的に学ぶことができた。
- ハンズオンありのTutorialセッションもある。初学者にはありがたい内容。

- コロナでリモートワークが一時期増えたが、最近ではオフィスに戻りつつある。
- 若い人材の流動率は高め？
「前同じ会社で働いていた」「最近転職した」という話をよく聞いたため。
- 文学部出身というとても驚かれる。
- フィリピンは学校数が少ないこともあってか、同じ学校・学部出身の人が多い。
- CCNAやCCNPなどciscoの資格を目指している人が多い。Fortinetの資格も人気。

**日本では、大学で様々な分野を学び、エンジニアになる人が多い。
多様性の観点から見ると一定の先進性があると感じた。
エンジニアリングを学んできていない自分だからこそ生かせる特性や道も
模索していきたい。**

5. まとめ

① プログラムのキーワードに興味があったため

興味があったキーワードについて、海外での動向や実例など、幅広く学ぶことができた。

そしてこれらの技術には自動化のスキルも必要だと感じた。

一方で、SIという業務の特性上、お客様から頂いている工数で自動化を実装するのが難しいというギャップを感じた。

② 英語で行われるビジネスの場に参加してみたかったため

自分が思っていたよりも全然コミュニケーションが取れなかった。

渡航前の認識：リスニング **7** 割くらい スピーキング **6** 割くらい

行ってみて：リスニング **4** 割くらい スピーキング **3** 割くらい

③ 海外のエンジニアの知り合いを作りたかったため

同年代のエンジニア(主に東南アジア)の知り合いがたくさんできた。

同年代でも自分の経験を国際会議の場で発表している方たちがいて刺激を受けた。

④ +α

海外でもIIJのプレゼンスが高いことを感じた。

6. 今回の経験を今後どう活かしたいか

① 海外の技術動向に目を向ける。

自動化がネットワークエンジニアに必要なスキルだと感じた一方で、普段の業務で取り組むのは難しい。このギャップをこれから自身のスキルアップを目指す上でどう埋めるべきかも考えていきたい。

② より実践的に英語で交流できる場に参加する。

同様の国際会議や各地域のNOGなどに参加したい。

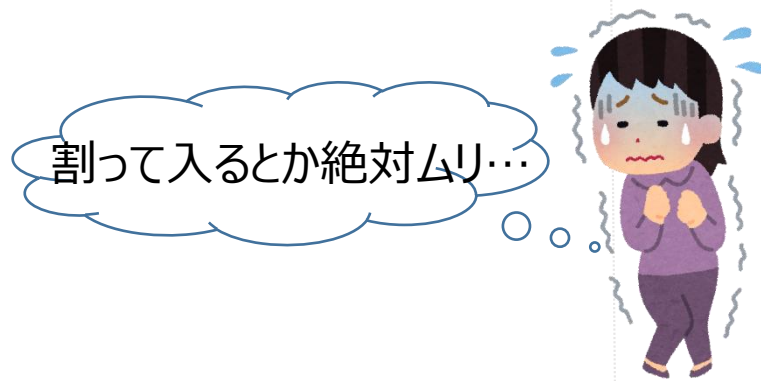
③ 普段業務で扱うネットワークの先にはインターネットがあることを意識し、人とのつながりを大事にしていく。次回はLTに挑戦する。

まずはJANOGに参加する。

④ 自分なりに日本のネットワークエンジニア、IIJのプレゼンス向上に貢献する。

今後、海外エンジニアも含むコミュニティに参加し発信してみたい。

真剣な顔で何人かで固まって話している



セルフィー♡と言いながら写真を撮っている集団に近づき、Shall I take a photo of you ?
とってなんとなく輪に入る。
次のselfieに写れば作戦成功。



これでたくさん友達ができました！ 13

7. 参加支援プログラムに関する所感

本当に貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

JPNICの皆様のサポートのおかげで大変有意義な時間を過ごすことができました。

また、心よく参加を許可して下さった上長の皆様、

忙しい中業務調整してくださった社内の皆様にもこの場を借りて感謝申し上げます。